

「埼玉発世界行き」帰国奨学生に聞きました！

平成30年度 地域活躍コース F.K.さん オーストラリア

Q1 なぜ、海外で学ぼうと思ったのですか。

高校生の頃から漠然と大学生の間に留学したいと思っていました。実際に留学を決めた理由は英語力を向上させたかったから、そして日本から出ていろいろな考えを持つ人と関わることで様々な価値観に触れて刺激を受けたいと思ったからです。自分の住んでいる日本という国を外側から眺めてみたい、日本では日本人として多数派の私ですが自分の環境を出てみて少数派になる経験をしてみたいと思いました。

Q2 留学先を決定する際に一番こだわった点は何ですか。

一番こだわったのは、様々なバックグラウンドを持つ人びとが集まる国と大学で学びたいと思いました。そのため多民族国家のオーストラリアで学び生活することで何か感じたり得られたりするものがあるのではないかと思います留学先に決めました。グリフィス大学を選んだ理由は、留学生の数が多くサポートが充実していたからです。また、英語力を向上させるために英語圏の国で学びたかったというのもこだわりのひとつでした。



Q3 留学先でもっとも苦労したことは何でしたか、またどのように乗り越えましたか。

はじめは間違えたり失敗したりすることを恥ずかしいと感じ自分に自信を持つことができずなかなか積極的になれませんでした。授業について行くのも大変で周りの学生が積極的に発言する中受け身の姿勢で日々を送っていました。友達と話すときもはじめは話を聞いているだけのことが多く自分の言いたいことをうまく英語で伝えられませんでした。しかし、周りではがんばっている他の留学生に刺激され、また留学までに自分ががんばってきたことを思い返し「私は留学生だから現地学生と同じようにできなくて当たり前だ。とにかくなんでも伝えてみよう」と考えられるようになってから様々なことに前向きに取り組めるようになりました。



Q4 留学してよかったと思うことの中で、一番そう思うのはどのようなことですか。

留学して良かったと思うのは、自分の考え方に変化があったことです。まず、留学先の人びとは生活の仕方が多様で皆が自分の「好き」を大切にしている印象を受けました。そのため以前は

周りに影響されやすい性格だったのですが、私も自分の興味関心があることや「好き」な食べ物、洋服、時間の使い方などを大切にするようになりました。また、留学の期間が短かったので後悔しないようにクラブ活動やイベントなどの新しいことにもどんどんチャレンジしました。慎重で優柔不断な留学前の私には考えられない変化でした。留学したことで自分の視野が広がりより多くの視点で物事を考えられるようになったのがうれしかったです。



Q5 留学前に知りたかったと思うことや、やっておけばよかった！と後悔したことがあれば教えてください。

授業の選び方についてもう少し考えておけば良かったと思いました。

Q6 これから留学される方に、アドバイスがあればお願いします。

留学に行くことを決断するにはたくさんのハードルがありました。英語で授業が理解できるのだろうか、お金がたくさんかかるのではないか、外国での生活は危険で困難なのではないか、友達ができないのではないかなど様々な不安と向きあって準備する必要がありました。渡航後もはじめは授業について行くことができず苦しい思いをしました。しかし留学を終えた今振り返ってみると、この4か月間は私にとってかけがえのないものになりました。いくつかのトラブルもありましたが、それを乗り越えるたびに自分が成長していくのを感じられてとてもうれしかったです。ゴールドコーストという美しい場所で勉強して生活して、新たに知識と友情と自信と思い出を手に入れて日本に帰ってこれることができました。不安でいっぱいだった4か月前の自分に教えてあげたいくらい幸せな留學生活でした。留學中は自分と向き合う時間が増えると聞いていましたが本当にその通りで、周りの人びとから良い刺激を受けて自分自身についても考えることができました。また自分がいかにたくさんの人に支えられているのかを実感しました。ひとつひとつの縁を大切にしながら、悔いのないようやりたいことにとことん挑戦する留學生活を送ってください。皆様の新たなチャレンジを心から応援しています。